

## 得点調整方法

本学の公募推薦入試（筆記試験）・全学統一入試・一般入試では、すべての科目に対して「中央値補正法」で得点調整を行います。

問題作成にあたっては、難易度が均一になるように十分に配慮して作成していますが、実際には、試験科目が異なれば、わずかながらも得点差が生じてしまいます。このような得点差を調整します。

なお調整の際に用いる中央値とは、各試験科目の成績順で中央に位置する人の得点のことです。中央値は平均点と違って極端な高得点や低得点にほとんど左右されることがなく、また、多くの場合、受験者が密集する得点域の中に中央値があるため、問題の難易度をより適正に示す指標として評価されています。本学では、各科目の中央値が、満点の60%になるように全体を補正します。

それでは、具体例を見てみましょう。

席次	素点			席次	補正点	
	日本史 100点	数学 100点			日本史 100点	数学 100点
1	100	100		1	100	100
2	80	70		2	77.1	73.3
3	75	65		3	71.4	68.9
4	70	60		4	65.7	64.4
5	68	58		5	63.4	62.7
6	65	55	➡	6	60	60
7	62	53		7	57.2	57.8
8	60	50		8	55.4	54.5
9	55	48		9	50.8	52.4
10	50	45		10	46.2	49.1
11	45	0		11	41.5	0
平均点	66.4	54.9		平均点	62.6	58.5

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。

平均点を見れば、科目選択による有利・不利が少なくなったことが分かります。

### 中央値補正法の計算式

① 素点 < 中央値の場合：
$$\frac{\text{満点の60\%の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

② 素点 ≥ 中央値の場合：

$$\frac{\text{満点の40\%の点数}}{\text{満点}-\text{中央値}} \times (\text{素点}-\text{中央値}) + (\text{満点の60\%の点数})$$

この得点補正方法では、成績順位が中央付近の人は補正の幅が大きく、満点と0点に近づくほど補正の幅は小さくなります。上の表は、日本史が数学に比べて全体的に得点が高かった例です。